



田尻さくら通信

宮城県田尻さくら高等学校 〒989-4308 大崎市田尻沼部字中新堀 137 <https://tajiri-hs.myswan.ed.jp>



みやぎ防災ジュニアリーダー研修会

12月12日(日)、多賀城市文化センターにおいて今年度のみやぎ防災ジュニアリーダー研修会が開催され、本校からは1年次で防災ボランティアのK. R君とA. S君が参加しました。

この研修会は東日本大震災の教訓を踏まえ、地域防災活動の担い手育成を目的に宮城県教育委員会が開催するものです。この日は仙南、大崎、栗原地区の各学校から約100名の高校生が参加し、講演を聴いて演習・ワークショップ等の活動を行いました。K君もA君も貴重な経験をして、受講後はみやぎ防災ジュニアリーダーと宮城県防災指導員の認定を受けました。

今年は本県でも震度5の地震が3回ありました。さらに大きな地震がいつまた宮城で起こるか分かりませんので、一人一人防災意識を高めていきましょう。



—みやぎ防災ジュニアリーダー参加生徒感想—

- ・「自分の命を守れずに他人の命は守れない」という言葉が一番心に残っています。また、防災の難しい点であるいつ起きるかわからない「曖昧さ」を十分考慮して防災タイムラインを作成したいと思いました。自ら考え、判断し、行動できる人となって、将来は地域や職場の防災力向上に寄与していきたいです。(1年次 K. R)
- ・防災について色々学びました。特に、事前に自然災害を防ぐプランの組み立ての難しさや、それを組み立てることの重要性について学びました。(1年次 A. S)

進路決定者の話を聞く会 (1・2年次対象)

12月9日(木)、進路が決定した3多年次、8名のお話を聞きました。

自分の経験に即して、進路を決める際に苦労したことや、今のうちにやっておいた方がいいことなどをしっかりと伝えてくれました。聞く側の姿勢も立派でした。



特色ある授業

～情報科編～

令和3年度現在、さくら高校で行われている特色ある授業を第7号から紹介していくシリーズです。今回は情報科編として、「アルゴリズムとプログラム」についてご紹介します。

【アルゴリズムとプログラム】

情報の発展科目の一つに「アルゴリズムとプログラム」という授業があります。

名前の通りプログラムについて学ぶ授業になりますが、プログラム言語の意味を覚える、というよりは「ここをこうしたら、このような動きをする」という思考を鍛える、論理的思考力を養っていきます。その過程で簡単なゲーム作成などを授業中に行っております。



校内読書感想文コンクールの入選作品決定

校内読書感想文コンクールの入選作品が決定しました。

全校生徒の皆さんが読書体験について感情豊かに作文してくれました。今年度は優れている作文が多かったのですが、なかでも“読書を通して成長した自分自身のこと”について書かれている作文が高い評価を受けました。受賞された皆さんおめでとうございます。なお、S. Tさんの作文は宮城県読書感想文コンクールへ出品されました。

最優秀賞	S. T	「自閉症の僕が跳びはねる理由」東田直樹
最優秀賞	K. R	「科学者になりたい君へ」佐藤勝彦（課題図書部門）
優秀賞	N. M	「君の臍臓を食べたい」住野よる
優秀賞	K. R	「あの夏が飽和する。」カンザキイオリ
優秀賞	K. R	「日本のこころの教育」境野勝悟

交通安全講話

12月16日(木)5・6校時に「交通安全講話」が行われました。

今年度は涌谷自動車学校から講師を迎え、交通安全について歩行者と運転者のそれぞれの視点から講話をしていただきました。



蕪栗ぬまっこくらぶ 出前授業

12月17日(金)に、特定非営利活動法人蕪栗ぬまっこくらぶから講師を迎え、ラムサール条約に登録されている蕪栗沼の自然環境やマガンなどの講話をしていただきました。野鳥の豆知識は大変興味深いものばかりで勉強になりました。

